

## 「くんこちは！」企画課男女共同参画係です

今日は、明治から昭和を生きたひとりの女性を紹介します。

これまであまり世に知られなかった「石井筆子」さんと言う女性の方です。

この度、この方の生涯が映画となり『無名の人―石井筆子の生涯』のタイトルで全国で放映されます。大分県は10月6日(金)に大分市のコンパルホールで午後7時30分からの1回のみです。

(残念ながら当地域での鑑賞は出来ないのですが...)でも、この方の人となりをぜひ紹介したいと思います。

激動の明治から昭和を生きぬき、自身の私生活は幼い我子2人の早逝、配偶者の若すぎる死と波乱の日々を過ごす中で、石井さんは知的障害のある幼い子を抱えながらも、明治30年に日本で初めて**人権思想に基づく男女平等論**を大日本婦人教育会の雑誌に、論文「思ひ出つるま、」を発表。その後、日本婦人を代表して、アメリカで行われた婦人倶楽部万国会議に出席して、アメリカの女子教育と福祉の状況をまのあたりにし、それからの石井さんは、日本で最初の知的障害者の施設を、後に再婚した石井亮一さんと協働して、碎身粉骨で運営をします。知的障害者に対する社会の理解も、国の施

策もない時代に深い人間愛と人権思想に根ざした教育を82歳、終生貫いた女性です。

『男女の此世にあるは云うまでもなく、同等の権利を具備するものにして、男子の為に女子あるにあらざるは、なお女子の為に男子あらざるがごとし』

この言葉は、「思ひ出つるま、」の一文です。男女平等の全てがこの言葉の中に凝縮されているように思えます。明治の時代、封建社会の世に石井さんの思いを感じ、また、とても勇気ある発表であったと思います。

この石井さんの生涯を綴った本が出版されていますので、ご紹介します。

- ①無名の人 石井筆子
- ②天使のピアノ―石井筆子の生涯
- ③福祉に生きる―石井筆子

以上の3冊です。

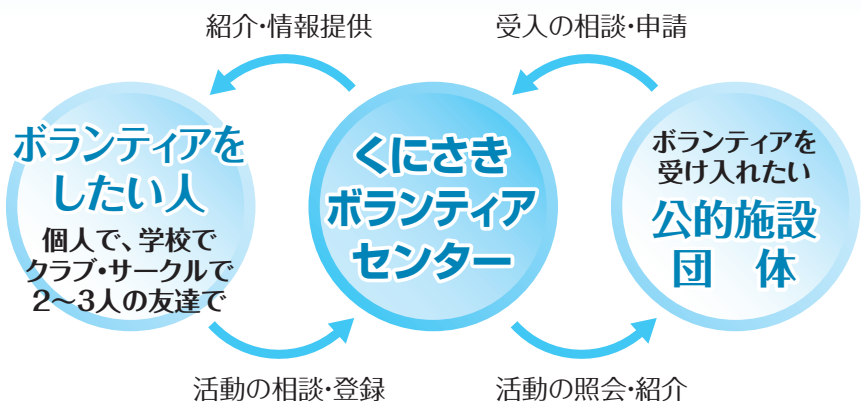
また、筆子・その愛―母として、妻として―という映画も、この秋以降に全国で放映される予定です。機会があれば、ご覧になると石井さんを感じることが出来るのではないのでしょうか。

**問い合わせ** 企画課男女共同参画係  
☎0978-1111 内線234

## くにさきボランティアセンター開設



▲第1回ドリタグ祭(7月31日(月))で活動する高校生ボランティア



共生社会実現のために、本来人間がもつ優しさや学びの心を共に出し合って、自らの意思で人(社会)のために何かをする体験活動がボランティアです。

くにさきボランティアセンターでは、ボランティアをした人とはボランティアを必要としている公的施設・団体とのコーディネートを行います。あなたにあったボランティア活動をご紹介します。

「一人の百歩より、百人の一步」で、相手の気持ちになつて活動し、体験を通して感動を味わい、次の一歩につなぐ心を広げましょう。

### 手続きについて

・登録制です(11月からの予定)

ボランティアをしたい人は、登録申請が必要です。期限はありません。登録用紙は各教育事務所に用意しています。

### 連絡先

国東市生涯学習課内(国東中央公民館)くにさきボランティアセンター事務局

☎0978-2121  
FAX0978-4070